

介護現場に、過剰負担を求めない「介護の質の追求」

皆で作ろう！心と体がハッピーになる職場
わかたけの介護業務改善 3.0

社会福祉法人 若竹大寿会

業務改善プロジェクト

リーダー 加藤 綾

わかたけ青葉

介護リーダー 鍋木 直人



本日本話しすること

1. 私たち、若竹大寿会とは
2. 私たちが目指していること
3. わかたけ介護業務改善プログラム
4. 入浴業務に関する改善
5. 次のステップへ



1. 社会福祉法人 若竹大寿会

設立：1989年3月15日

代表：理事長 竹田 一雄

本部：神奈川県横浜市神奈川区平川町2-4

神奈川県横浜市の民間社会福祉法人。最も多種類の介護保険サービスを提供しています。また、法人全施設がご利用者様の人権を守る「拘束のない介護」を実現するなど、質の面でも最先端の取り組みをしています。

29の施設、**926**のベッド数、**1,400**人のスタッフ



2. 私たちが目指していること

- 現場の重度化と過剰負担から、スタッフを救う
- スタッフが、生き生きと取り組める「**本来の介護**」を実現
- 「**勤めたい職場・辞めない職場**」を作る
- 「介護の専門性の証明と発展」のためにエビデンスを作る

3.わかたけ介護業務改善プログラム

業務改善1.0

トヨタ生産方式を
ベースとした改善開始

生産業界で確立された
改善手法の習得

5S活動と作業改善

「ムダ」の徹底的排除と
改善を通じた人財育成

業務改善2.0

介護の世界に適合した
業務改善方式に

介護現場に即した
小項目による改善

改善項目のリスト化と
全員参加による改善

結果の見える化による
現場意識の変革

業務改善3.0

介護人員 2.5 : 1 体制に
向けて

職員配置の変更による
生産向上による

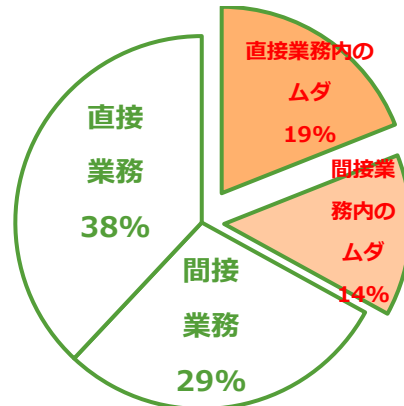
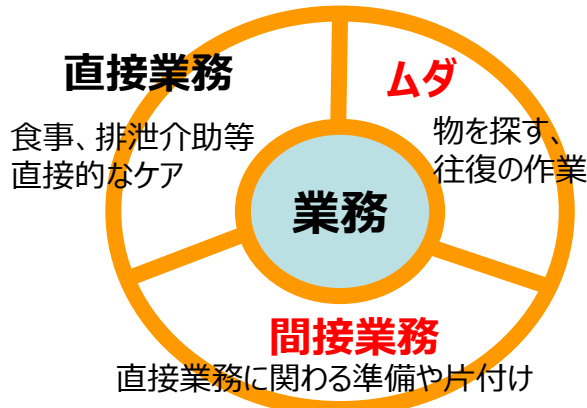
標準化・簡素化・平準化
5S (整理、整頓、清掃、清潔、躰)

現場の負担軽減と
本来の介護ヘシフト

間接業務の短縮と
ムダな動きの排除

業務の小項目化見直しにより
ムダの部分の33%が削減可能

職員の業務の充実
余った時間を自分の時間に



ポイント

- 介護現場にマッチした改善手法であること
- どの施設でも取り組める実現可能であること
- 明らかな成果がでること



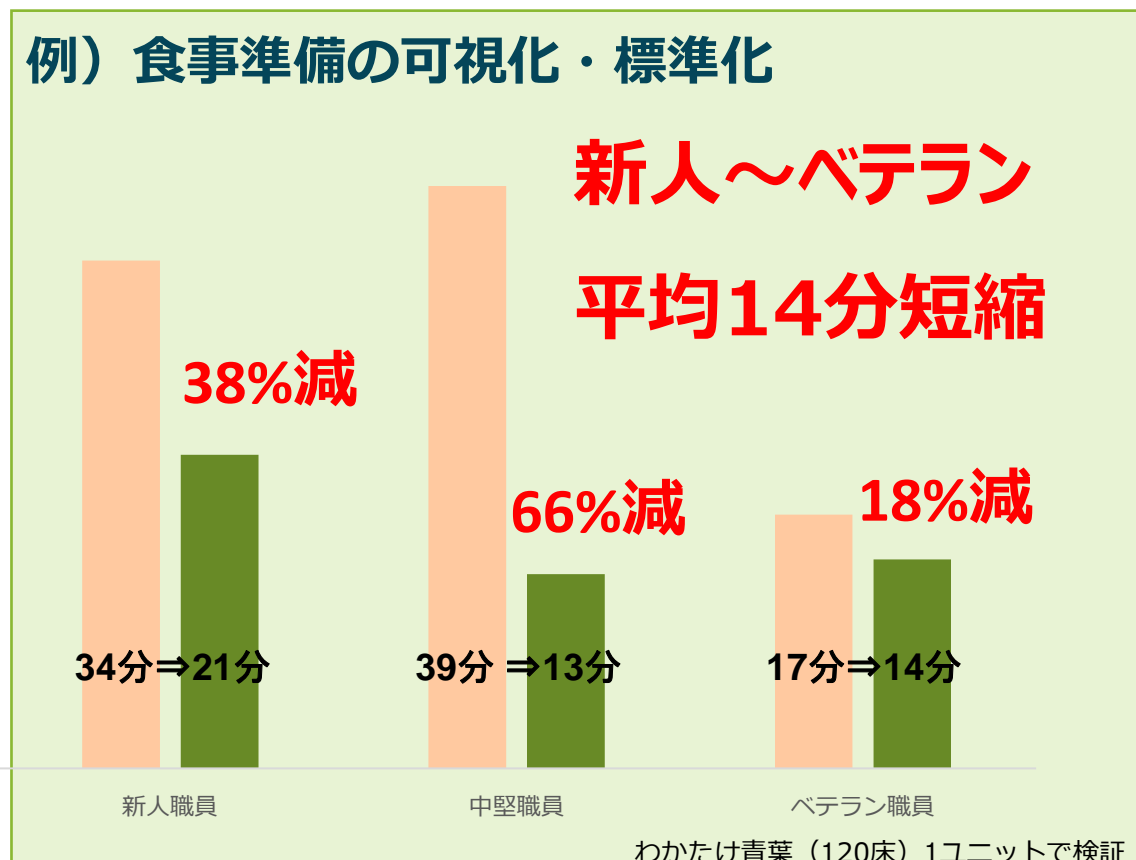
**「標準化」 「簡素化」 「平準化」で
わかたけ介護業務改善プログラムを構築**

1. 標準化

ポイント：業務の一番早い人の手順をマニュアル化。

スタッフ全員がそのマニュアルに基づいて業務を実施。

例) 食事準備の可視化・標準化



<1ユニット削減時間>
21時間/月
<施設全体削減時間>
252時間/月

1.5名分/月削減

2. 簡素化

ポイント： スタッフ全員で業務の洗い出し。

削減できそうなアイデアを検討して実行。

実施施策	1回の削減時間	施設全体1ヶ月の削減時間
泡タイプの全身洗剤料へ変更	30秒	2.1時間
ドライヤー手袋の使用	2分	8.4時間
浴室洗剤の変更	50秒	3.5時間
ボックスシートへ変更	3分	12.0時間
使い捨て清拭へ変更	5分	33.0時間

合計： 59時間/月

0.4名分/月削減

わかたけ青葉（120床）で検証



3. 平準化

ポイント：業務が集中する時間（例：食事準備）の業務をリスト化。

集中業務の前後にずらせる業務を配分し、1人の作業量を平均化。



- 介護職員の業務の
重なる時間の見直し
- 基本の業務は
ワンオペで対応可能に



今までの入浴業務：1日6～7名（2ユニット） **入浴介助を実施**

業務内容：浴室準備→誘導→浴室内の介助→衣類着脱介助→入浴後の清掃
⇒これら一連の業務を1人の職員が実施していた。

課題： 入浴業務に時間がかかりすぎている。
2.5:1の人員体制の実現には、今の方法では困難！
ケアの質を落とさずに入浴介助を行う。

入浴業務に対する「業務改善」は結構大変！

解決の糸口を探すために：

- **入浴にかかる時間の把握**
- **効率化の見直し**

1st ステップ

入浴時間の把握

- 居室から浴室への誘導
- 着替え、入浴
- 入浴後、体拭き、着替え
- 居室への移動

入浴時間は1人30分～40分（個浴）

- 入浴介助は誘導から終了まですべて同じ入浴介助職員が担当。
- 浴室を準備する時間と入浴者を浴室まで誘導する時間がかかる。
- 個浴後の清掃で時間および職員の負担大。

入浴業務の簡素化、効率化の仕組みを整え、マニュアルを作成。

2nd ステップ

入浴の組み合わせ

入浴ケアの人員と時間の洗い出して入浴の組み合わせを考える

入浴当日の入浴者の順番がきちんと組み立てていない。

個々のご利用者様の入浴時間を計測し、最適な組み合わせを計画。

最終ステップ

2.5 : 1 配置時を想定

- スケジューリング
- 役割分担表
- 入浴フローチャートを作成

2.5 : 1 の人員配置では4h × 6日 = 24h / 週の入浴時間が必要。
現在の施設の勤務体制では実現不可能。

非常勤職員を含めた勤務体制の見直し。
入浴日を4日に集中させ、4日 x 6h (24h / 週) 体制に。

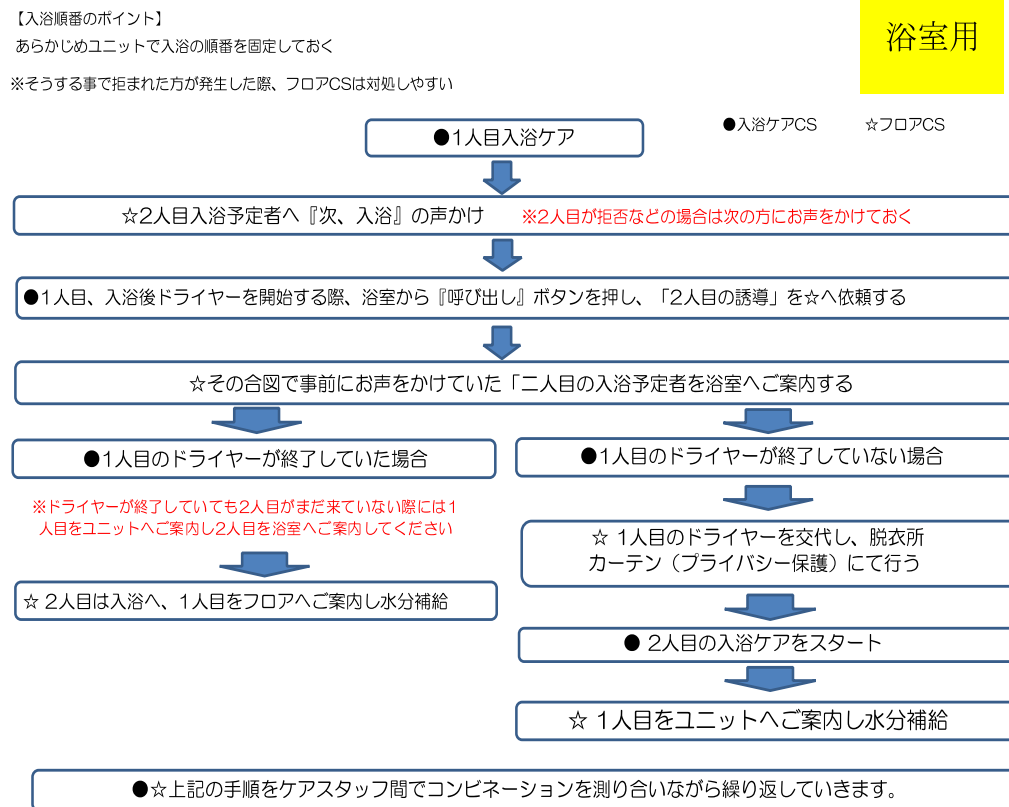
4.入浴業務に関する改善

1st **ステップ**：入浴業務の簡素化、効率化の仕組みを整え、マニュアルを作成。

入浴業務マニュアルにおけるポイント

- 入浴前の準備の簡素化
- 浴室への誘導職員と入浴介助職員による作業分担
- 入浴者の肌を守るボディウォッシュに変更
- 入浴後のご利用者様ケアの変更
- 入浴後の清掃方法の変更

わかたけ青葉 入浴フローチャート



4.入浴業務に関する改善

2nd ステップ：個々のご利用者様の入浴時間を計測し、最適な組み合わせを計画。

ポイント①

ご利用者様の3回の「入浴時間」から平均時間を計測。

【第二弾】業務改善の取り組みのご協力をお願いします。

- 今回のポイント
- 1) 今回は**実際2.5：1**の人数配置で計測をしていきます。(別紙参照)
 - 2) 下記の日程で一人当たりの時間の計測をお願いします。
 - 3) 計測の時間は、脱衣室に入ってから、入浴を終えて脱衣室を出るまでの時間です。

浴室保管

今回の注意点！

2.5：1以外の職員が良かれと思って手伝ってしまうと
【理由】決められた人数でどこまで業務改善が可能なかを正確に判断する取り組みなのです！

『2.5:1』業務改善が成功すると！！

- ・自分やユニットでやりたいことを企画し実行でき ・ 様々な勤務形態を提案し実行出来る！
- ・研修など自己研鑽の機会が今まで以上に取組む ・ 有休や連休が取りやすくなる！ などなど

さあ

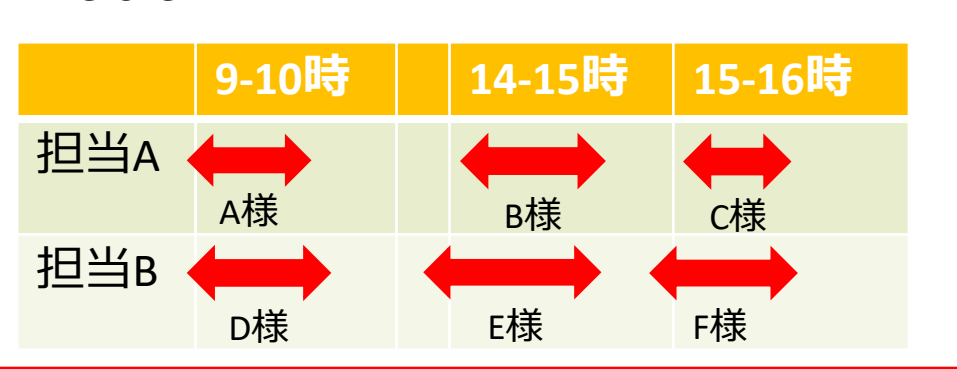
『働きやすい魅力あるわかたけ青葉』を
自分たちの手で作りあげましょう！！！！

2階	居室	名前	前回時間	入浴形態	8/15.16 (木)	8/19.20 (月)	8/22.23 (木)	個人平均時間	コメント	
わかたけ青葉	1	A様	60分	家庭浴 リフト浴 特浴	60分	55分	52分	56分	同性ケア対応中	
	2	B様	35分	家庭浴 リフト浴 特浴	23分	17分	21分	21分	コールボタンを押してもフロアが忙しくてCS来れなかった	
	3	C様	30分	家庭浴 リフト浴 特浴	24分	28分	23分	25分	両手爪切り、右腕発赤NS処置、下肢の軟膏塗布 (課題：浴室以外で出来る事は実施)	
	5	D様	31分	家庭浴 リフト浴 特浴	28分	25分	21分	24分	入浴後、ご自身で体を拭いてもらっている間に浴槽を洗おうとしたが今回はご自身で拭けなかったため洗い「打ち合わせしていた浴槽」と誤り方をご案内して衣類準備が滞ってしまったり	
	6	E様	27分	家庭浴 リフト浴 特浴	29分	22分	23分	24分	着替えの準備がされておらず怒り爆発	
	7	F様	35分	家庭浴 リフト浴 特浴	27分	29分	23分	27分	準備不足 (誘導までの着替えや声)	
	8	G様	40分	家庭浴 リフト浴 特浴	40分	38分	36分	38分		
	10	H様	40分	家庭浴 リフト浴 特浴	41分	29分	23分	31分	浴槽を洗って湯を入れる時間が足りなくて中々溜まらなかった	
	11	I様	35分	家庭浴 リフト浴 特浴	44分	35分	33分	38分	体後からスムーズに誘導出来た	
	12	J様	24分	家庭浴 リフト浴 特浴	25分	20分	25分	24分	左足首発赤ありNS処置、下肢の軟膏塗布 (課題：浴室以外で出来る事は実施)	
			前回平均	36分		34分	27分	26分	31分	

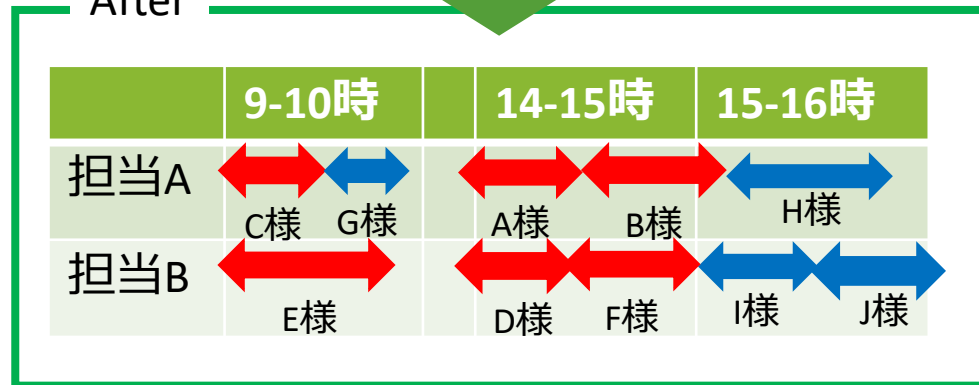
ポイント②

ご利用者様の「平均時間」の組み合わせとスタッフの業務分担によって浴室空き時間を極力削減。

Before



After



4.入浴業務に関する改善

最終ステップ：2.5：1 配置のために入浴日4日での人員配置時スケジュールリングと役割分担。

ポイント① **勤務を調整し、入浴業務で1日6時間費やせる担当分けをする。**
 (非常勤職員の勤務日の調整等も含む)

ポイント② **改善の成果として2.5：1体制の入浴業務を実施することで**
 スタッフがフリーになれる時間を検証。

19日(月)	9時~10時(1)	14時~16時(2)	3時間担当	特浴
ほのふれ	担当 A	担当 A	担当 B	担当D +②
ほほやす	担当 B	担当 B	担当 F	
こもかが	担当 C		担当 I	
さわはま	担当 D	担当 D	担当 J	
すずそよ	担当 E	担当 E	担当 E	

20日(火)	9時~10時(1)	14時~16時(2)	3時間担当	フリー
ほのふれ	担当 A	担当 A	担当 I	
ほほやす	担当 G	担当 G	担当 J	フリー +1名
こもかが	担当 C	担当 H	担当 H	フリー +1名 特浴フォロー
さわはま	担当 D	担当 D	担当 F	
すずそよ	担当 E	担当 E	担当 E	

2ユニットで
6時間の
入浴時間で稼働
+1階特浴は
職員2名×
5~6時間必要

欠勤者あり
フリー勤務取
れず

2ユニットで
6時間の
入浴時間で稼働
+3階特浴は
職員1名
7時間必要

前日分のヘル
プに入りフリー
勤務取れず

入浴業務 時短 秘密兵器トリオ！

手にはめてドライヤーをかけると乾きを早める効果がある。長髪の方に効果的。



濡れた髪の 乾きを早める
マイクロファイバーのグローブ

髪と身体がこれ1本で洗える。うるおいがあり、お肌にいいのでご利用者様にも評判。



ソフティ
泡のヘッド&ボディシャンプー

スプレーするだけで汚れを簡単に落とし、泡切れもいいので、個浴のお風呂掃除時間が短縮。



バスマジックリン
SUPERCLEAN 業務用

一つ一つの**小さな改善を積み重ねる**ことにより、**大きな改善**につながりました。

4.入浴業務に関する改善

入浴に関わる標準化・簡素化による時間削減

結果

- 1ユニット1日あたりの入浴業務にかかる時間を1時間13分削減
- わかたけ青葉全体で1カ月 **160時間分**の削減
- 非常勤職員が行う業務からユニット職員も協力する体制を構築

	項目	具体的な項目	改善前			改善後			削減時間 (分)
			一回に係る 時間(分)	1日の 頻度	合計時間数 (分)	一回に係る 時間(分)	1日の 頻度	合計時間数 (分)	
間接業務	入浴前	浴室準備	10.0	1	10.0	1.0	1	1.0	9.0
直接業務		入浴者の相談	5.0	1	5.0	0.5	1	0.5	4.5
		体温はおでこで検温	1.0	6	6.0	0.1	6	0.6	5.4
		BP測定は手首での検測	0.5	6	3.0	0.3	6	1.8	1.2
		浴室への誘導をユニット職員が担当	6.0	6	36.0	0.0	6	0.0	36.0
	入浴時	泡タイプの全身洗剤料に変更(泡立て時間削減)	1.0	6	6.0	0.0	6	0.0	6.0
	入浴後	ドライヤー時手袋着用	5.0	6	30.0	5.0	6	30.0	0.0
		足ふきマットはタオルを使用	5.0	1	5.0	0.0	1	0.0	5.0
間接業務		個浴後の清掃はこすらない洗剤を使用	1.0	6	6.0	0.2	6	1.2	4.8

4.入浴業務に関する改善

職員の声



ご利用者様の入浴時間の把握により効率的な組み合わせを構築。**スムーズに入浴が行える。**



担当表を作成して効率的な入浴介助を実現。
職員の意識に変化が現れた。



時間に余裕ができ、フリーになれる時間ができた。**ご利用者様と接する時間が増えた。**

浴室洗剤やヘアードライグローブなど**現場職員発信のアイデア**や**取り組み**が増加！

研修や他施設見学など、**外出や勉強をする時間が増えた！**

リハビリの充実や認知症ケアの専門性の向上の時間がもてるようになった。

ご利用者様の声



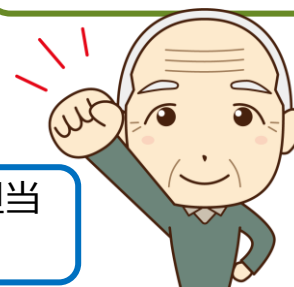
お風呂に入るための**待ち時間が減った。**

いつもきれいなお風呂に入れて気持ちいい。



ボディシャンプーが変わって**肌がすべすべ!**

いつも決まった職員が担当してくれるので安心。



希望の入浴時間に入れる。自分の1日の予定が立てやすくなった。

生活の質・サービスの質を担保しながら生産性の向上を実現するには現場の作業負担を、ICTを活用し抜本的に改善する。

介護現場を知っているからできる。現場発、現場のニーズにあったシステムの開発

- 記録業務の徹底削減
- 夜間巡視の廃止
- バイタルデータ常時監視による安心の介護
- 外国人スタッフ支援
- 大規模データのAI解析
- スマート介護

現場の業務改善

生産現場の業務改善をベースにした
【介護現場の業務改善】

業務改善後の

ユニット型 **2.5 : 1**

両方の
組み合わせが必須

ICTを活用した 新システム

今までにないICT活用の
新システムを独自開発

業務改善+ICT

ユニット型 **3 : 1** の実現

ご清聴ありがとうございました。

わかたけの介護業務改善プログラム最近の記事掲載はこちらから
<https://wakatake.net/news/>

わかたけの介護業務改善プログラムに関するお問い合わせは
pr@wakatake.or.jp

